



らん かお
蘭が薫れば

加羅古呂庵 一泉

2025. 2. 2 作曲

尺八 1尺8寸管 

三絃 二上がり 

箏I 花雲調子 途中六・斗 調弦替えあり 

箏II 花雲調子 途中六・斗 調弦替えあり 

十七絃 

運指、奏法については、適宜工夫していただいでけっこうです。

蘭が薫れば

中国では、高潔な人格、優れた徳の持ち主は、蘭に喩えられてきました。前漢の時代の典籍『淮南子』には、「蘭生幽谷、不為莫服而不芳」（蘭は幽谷に生え、もって服す者が莫くとも芳し）とあります。深い谷間に生える蘭は、誰もその香りを嗅ぐ者がいなくても芳香を放ち続けるという意味で、人に知られずとも自らの価値を追求し続けることの重要性を示しています。また、薰陶という言葉があるように、その香りは周りの人々により影響を与えるという意味もあるようです。

今日では、SNS が普及して情報が溢れかえり、よい情報だけでなくネガティブな情報も流布されることから、立派な人が生まれにくいかもしれませんが、蘭のように高潔で気品があり、社会により香りを放つような人が現われてほしいものです。

蘭も品種改良が行われ、花屋さんの店頭を華やかに飾っていますが、日本には地味ながら美しい野生の蘭があります。その中から3種を選んで「金蘭の微笑み」「銀蘭の慎み」「紫蘭の華やぎ」の3つのシーンで構成しました。都会に住んでいると（園芸品種の紫蘭以外は）目にする機会はほとんどないと思いますが、幽谷にまで行かないまでも、春になれば里山の林の下などでひっそりと咲いています。

※縦譜につきましては、当該楽器のほかに他の楽器のパートを補助的に記載しています。ただし、複数のパートを集約し、オクターブも変えているところがあります。また、十七絃は箏に置き換えて記載しています。正確には、五線譜（スコア）をご参照ください。

加羅古呂庵ホームページ



			25		21		17		13		
七	○	レ	△	4	▽	△	4	▽	八	○	▽
八			斗	1		六			十	○	
△	○	チ	+	4		>	>		八	○	
八九			+	1		八	1		七	○	
十	○	ツ	>	△		八	四		七	○	
△			+	四		九	一		六	○	
斗	○		九	一		九	四		七	○	
十		ロ		四					八	○	
十	○	ロ	+	1	▽	八	1	▽	八	○	▽
九			斗	4		九	4		九	○	
八	○	人	+	1		八	1		△	○	
七			+			八			+	○	
八	○	人	>				>		△	○	
七		ロ	△	1-1			4		斗	○	
八	○	ロ	九				1		+	○	
			+	>					>		
十	○	ロ	六 ^箏	○	△	1	▽	△	十 ^箏	四	▽
九			八		中			九 ^{十七絃}	斗		
十	○	ロ	△	○	レ	>	>	>			
			八九								
十	○	ロ	九	○	チ	為	9	>	斗	四	>
△			九						+	一	
十	○	ロ	八	○	チ	斗	7		斗	四	
九			九			+	5		斗	一	
九	○	人	八	○	チ	十	7	▽	九	一	▽
八			七			九	5		八	一	
七	○	人	△	○	ヒ	八	4		一	四	
六			六		人		1		>	一	
五	○	ツ	五	○	テ		一		九	四	
△			△	○	レ		四		十	一	
六	○		六		チ		>				
八			八								

蘭が薫れば (2)

			9		5 ^箏 ・十七絃	三絃	尺八 1
八	○	▽	△	4	▽	4	4/4 ♩=80
九			八	1		4	二上がり
△	○		六	4		○	in D
八九			五	1		○	
十	○		△	7		○	
△			中			○	
斗	○		斗	>		○	
十			十			○	
			八	△	▽	五	○
中	○	▽	八	4		○	○
斗			一	1		○	○
十	○		五	四		六	○
八			六	一		八	○
九	○			四			
十							
八	○	▽	十 ^箏	108	金蘭の微笑み	九	△
七			中	○		一	mf 四
八	○		△	○		一	一
六			為	○		八	一
五	○		中	○		九	四
四			斗	○			
△	○		十	○			
四			八				
五	○	▽	九	○	▽	八	△
六			十	○		九	一
七	○		△	○		十	四
八			斗	○		一	一
八	○		十	○		一	1
△			△	○		○	7
九	○		斗	○			
八			十	○			

蘭が薫れば (1)

蘭が薫れば

加羅古呂庵 一泉 作曲

		57		53		49		45	
△ ^{十七} 九 ^絃	四	○	八	△	mf ^十 中 ^二	○	九	4	口
>	>	mf ^子 乙	七	伍	△	○	八	1	
			八	一	△	○	七	ス	
	四		六	-1	△	mf ⁻ -1	六	四	
	>		五		△	-1	五	一	
	>		四	-1	△	-4	四	伍	
+	四	シ	△	一	△	-4	三	一	シ
斗	四		四	四	△	-4	二	四	
			五	△	△	△	一	1	口
+	一	口	六	7	△	△	+	4	口
九	伍	一	七	5	△	△	>	1	一
八	一	△	八	4	△	△	八	4	一
	四	△	八	1	△	-4	一	-1	
>	一	△	△	四	△	△	+	-1	
+	四		九	1	△	△	+	>	
	一		八	>	△	△		1	
					△	△			
△ ^六	4	ツ	八	△	八	△	pp ^五	△	△
>	>		十	一	九	四	六	仁	△
			八	>	△	1	五	一	△
八	1		七	伍	△	-4	一	1	△
一	四		八	四	△	5	五	一	△
九	一	チ	七	1	△	7	六	一	△
	四		八	7	△	一	五	一	△
八	1	口	八	△	中	△	五	仁	△
九	4	ツ	九	4	斗	4	六	一	△
八	1	口	△	1	十	1	五	一	△
	>	ツ	十	4	八	-4	五	一	△
	△	チ	△	-1	十	-1	六	一	△
+	-1		>	>	>	-	五	一	△
						>		1	

蘭が薫れば (4)

		41		37		33		29	
八	1	、	七	△	斗	7	八	○	チ
十	7	ツ	六	7	>	>	十	○	人
	ス	チ	五	5			+	○	レ
	5	レ	四	4	+	-1		○	ツ
	4	ツ	三	1	+	-1		○	ッ
	1	チ	二	四	○	◎		○	ロ
中	四		一	△				○	人
	一		△	四				○	
			十	一	+	1	七	○	ロ
為	四	人	九	伍	+	四	八	○	ッ
斗	1	口	八	一	九	四	△	○	ロ
十	>	口	一	四	十	一	△	○	ッ
八	-1	口	八	1	+	-1	△	○	ツ
			九	四	>	>	△	○	ッ
+	>		十	1			五	>	ロ
				四					
九	四	人	為	四	mf ^九 十七 ^絃	mf ^四	f ^九	f ^四	、
>	一	↑	中	一	>	四	>	>	人
	四	口	為	四	△	ス	八	仁	レ
>	一	ツ	斗	一	△	1	七	一	ッ
	四		十	四	△	ス	八	一	チ
>	一	チ	九	一	△	7	◎	◎	人
	四		八	四	七				口
	一		九	7					
七	四	ツ	十	5	△	5	七	四	、
八	1	口	中	4	△	4	八	>	レ
	>	口	為	1	△	1	十	-1	ッ
	ス		斗	一	△	四	△	一	チ
+	7		十	一	△	1	九	◎	ロ
			+	四	一	1	八	◎	ッ
				一	一	四			ロ

蘭が薫れば (3)

89	85	81	77	+	○	∇	+	斗	7	・	ツロ人
十	5	1	チ	+	○	∇	+	斗	7	・	ツロ人
○	7	四	人	>	○	∇	>	>	>	人	チ
	5	一	ロ	>	○	∇				チ	ロ
九	3	一	ツ	>	○	∇	+	+	-1		ツ
○	3	ス	一	○	○	∇	○	○	○	チ	ロ
	1	伍	一			∇				チ	ロ
八	3	一	レ	6/8 J.=54 mf △	6/8 レ	△	+	+	1	・	ロ人
○	5	伍	チ	mf △	レ	∇	九	九	四	人	チ
	3	一	レ	△	レ	∇	+	+	レ-1	人	ロ
七	1	四	人	△	レ	∇	>	>	>	人	ロ
○	四	一	チ	△	レ	∇				人	ロ
	一	ス	人	△	レ	∇				人	ロ
六	三	伍	レ	△	レ	∇	mf+	+	○	∇	人
○	伍	一	チ	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
	一	ス	人	△	レ	∇	+	+	○	∇	人
八	一	ス	人	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
○	>	>	人	△	レ	∇	+	+	○	∇	人
	ス	ス	人	△	レ	∇	+	+	○	∇	人
九	△	1	レ	mf △	レ	∇	斗	+	○	∇	人
斗	△	四	チ	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
為	△	一	チ	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
中	△	三	チ	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
斗	△	1	人	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
斗	△	3	人	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
斗	△	1	人	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人
斗	△	3	人	△	レ	∇	斗	+	○	∇	人

銀蘭の慎み

蘭が薫れば (6)

73	69	65	61	八	○	レ	七	○	レ	mp	+	mp	△	∇	△	1	・
十	九	八	七	八	○	レ	八	○	レ	+	斗	+	△	∇	中	1	・
○	八	七	六	△	○	レ	九	○	レ	+	斗	+	△	△	>	>	人
	七	六	五	△	○	レ	八	○	レ	+	斗	+	△	△	為	9	人
○	六	五	四	△	○	レ	七	○	レ	+	斗	+	△	△	斗	>	人
	三	二	一	△	○	レ	六	○	レ	+	斗	+	△	△	+	7	レ
七	三	二	一	△	○	レ	五	○	レ	+	斗	+	△	△	+	5	人
○	一	ス	人	△	○	レ	四	○	レ	+	斗	+	△	△	+	1	人
	四	一	人	△	○	レ	三	○	レ	+	斗	+	△	△	+	1	人
七	一	ス	人	△	○	レ	二	○	レ	+	斗	+	△	△	+	1	人
○	一	ス	人	△	○	レ	一	○	レ	+	斗	+	△	△	+	1	人
	一	ス	人	△	○	レ	一	○	レ	+	斗	+	△	△	+	1	人
六	三	伍	レ	△	○	レ	十	○	レ	mf	六	斗	>	レ-4	△	4	・
○	伍	一	チ	△	○	レ	九	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	1	人
	一	ス	人	△	○	レ	八	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
八	一	ス	人	△	○	レ	七	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	1	人
○	>	>	人	△	○	レ	六	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
	ス	ス	人	△	○	レ	五	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
九	△	1	レ	△	○	レ	四	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	四	チ	△	○	レ	三	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
為	△	一	チ	△	○	レ	二	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
中	△	三	チ	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	1	人	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	4	人	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	1	人	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	4	人	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	1	人	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人
斗	△	4	人	△	○	レ	一	○	レ	斗	八	斗	>	レ-4	斗	4	人

蘭が薫れば (5)

		121		117		113		109			
為斗十九八	△ 7 >	▽	十 ◎	5 7 5 3 ス 1	㇇	八 九 十	1 四 一 一 ス 伍	▽	九 十 斗 中 斗 >	△ △ △ △ △	㇇ レ チ ㇇ -
六七八九十	3 1 5		九 十		㇇	十 斗 ◎		▽	十 九 八 七 六 五 四 三 二 一	mf 1 四 一 伍 > >	㇇ 人 チ レ ㇇ レ
十斗十	-7 ◎	mf ㇇ ^(甲) レ	斗 ◎	3 5 3 1 四 一	㇇	六 ◎	一 伍 一 四 一 ス	▽	十 九 八 七 六 五 四 三 二 一	1 四 一 伍 > >	㇇ 人 チ レ ㇇ レ
九斗十	○	レ	十 九 八		㇇	七 八 九		▽	斗 ◎	一 ◎	チ
九八七	△ △ △	㇇	六 ◎	三 ス 伍 一 > ス	㇇	斗 ◎	三 ス 伍 一 > ス	▽	斗 ◎	一 ◎	チ
六◎	△ △ △		八 ◎		㇇	中 ◎	一 > ス	▽	斗 ◎	三 ◎	チ
八九十斗為	○ △	▽	九十斗為中	○ △	▽	七 八	1 四 一 3 1 3	mf ㇇ ^(甲) チ	五 六 八 九	一 三 一 四 1 3	㇇ チ チ ㇇ -
六七八九十	△ 7 ス 7		中為斗十斗	△ 7 ス 7		八 九		▽	八 九		チ

蘭が薫れば (8)

		105		101		97		93			
中	3 >	▽	十 ◎	5 > ス 5 3 1	▽	斗十九八七	△ △ △ △ △	▽	為斗十九八	△ △ △ △ △	▽
為斗	1 1 三 >		○			六七八九十	△ △ △ △ △		六七八九十	△ △ △ △ △	
△十	一 > >	▽	八 ◎	3 > ス 1 四 1 四 一	▽	十斗十	△ △ △ △ △	mf ㇇ ^(甲) レ	十斗十	△ △ △ △ △	mf ㇇ ^(甲) レ
八◎	三 > 一		七 六			九斗十	△ △ △ △ △	レ	九斗十	△ △ △ △ △	レ
九◎	一 > >	▽	△ 八	三 一 > 一 > >	▽	六七八	△ △ △ △ △	チ	九八七	△ △ △ △ △	㇇
七八九十斗	一 三 一 >		八 九 十			> ◎	△ △ △ △ △		六◎	△ △ △ △ △	
為斗	△ △ △ △ △	mf ㇇ ^(甲) ㇇ マ	△ 斗 > △ 為 >	三 > > 三 1 >	▽	○ △ ^箏 七 八	mf 1 > ス 1 3 1 3 1	▽	八九十斗為	△ △ △ △ △	▽
斗九八	△ △ △ △ △		△ 斗 > △ 為 >			七 八			六七八九十	△ △ △ △ △	

蘭が薫れば (7)

153		149		145		141					
五 八	○	∨	五 ^{十七} 絃	一	∨	中 ^箏 斗	mf 一	口 ^乙	mf +	1	∧
>	○		◎	>		中 ^斗	—	チ	△	一	
五 八	○		+	ス		十九	>		◎	一	○
十 八	○		中	一		十九	>		+	一	mf 一
				一		八	>		>	ス	チ
				一		八	>		>	一	チ
五 八	○	∨	五	一	∨	中 ^斗	一	口 ^甲	+	1	∧
>	○		◎	>		中 ^斗	—	チ	△	一	
十 八	○		+	ス		十九	>		◎	一	○
十 斗	○		中	一		十九	>		中	一	チ
				一		八	>		>	ス	チ
				一		八	>		>	一	チ
中 >	mf 7	∨	八	7	∨	斗十九	四	ツ	中	7	∧
為 >	ス		◎	ス		斗十九	1	口	△	1	
斗 >	ス		九	ス		八七六	>		◎	一	○
十 >	ス		八	ス		八七六	>		中	1	セ
	ス			1		ス			>	ス	セ
				ス		1			>	1	セ
斗 >	4	∨	六	4	∨	斗十九	四	ツ	中	7	∧
九 >	ス		◎	ス		斗十九	1	口	△	1	
八 >	ス		八	ス		八七六	>		◎	一	○
十	一		十	1		八七六	>		+	一	セ
	一			ス		ス			>	ス	セ

蘭が薫れば (10)

137		133		129		125	
斗 ^十	>一	レ	斗 ^十	△	レ	斗 ^{十九}	△
△	一		斗	△		九	5
>	ス		中	△		七	>
◎	一		斗	△		六	3
	1		斗	△		七	1
+	>		>	△		八	一
>	>		>	△		十	—
	>		△	レ			レ
	レ			レ			レ
	一		十	レ		十	— 1
>+	>一		九	レ		斗	◎
△	一		八	レ		為 ^{十七} 斗	レ
>	ス		レ	レ		九	○
◎	一		レ	レ		八	レ
	1		レ	レ		七	レ
中	>		レ	レ		レ	レ
>	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ
	>		レ	レ		レ	レ

蘭が薫れば (9)

		185		181		177		173		
十	○	ロ	八 ^第	○	チ	十	mf 一	九 ^第	○	▽
中		チ	五		ロ ^甲	中		八		▽
△	○		△	○	ツ	△	△	△	○	
為		レ	六		△	為	伍	九		
△	○		△	○	レ	△	◎	△	○	
斗		ツ	七		斗			十		
十	4	ロ	八	f 4	チ	十	一	斗	○	
八	>	チ	九	5	人	九	四	為		
四	5	サ	八	7	チ	八	一	中	○	▽
五		ロ	七		レ	七		為		
△	◎		△	◎	ツ	△	△	△	○	
四		サ	六		△	八	一	斗		
五	○	ロ	△	○	七		◎	△	○	
			五		ロ			十		
八	7	チ	六	7	ツ	八	一	九	○	
九	>	人	七	5	レ	九	四	八		
八	7	チ	九	4	サ	十	1	十	○	▽
七		レ	八		チ	九		九		
△	◎		△	◎	サ	△	△	△	○	
六		ツ	九		△	八	一	十		
△	○		八	○	チ	△	◎	九	○	
十		ロ				七				
九	4	人	十	4	レ	六	四	斗	○	
八	>	チ	九	1	人	五	一	十		
九	4	人	八	1	チ	八	一	九	○	▽
斗		ツ	七		レ	九		八		
十	◎	ロ	△	◎	ツ	十	△	△	○	
			六				九	△	○	
◎	○		△	○	サ	◎	◎	△	○	
			四					十		
◎	一-1		五	一-1	ロ	◎	一-一	>	○	

蘭が薫れば (12)

		169		165		161		157		
十	○	ロ	八 ^十	○	>十	○	ロ	>十	○	チ
中		チ	十 ^七				チ			ロ ^甲
△	○		△	○	△	○	△	△	○	
為		レ	斗		>九		レ	>>		ツ
△	○		△	○	◎	○	△	◎	○	
斗		ツ	十				ツ			レ
十	○	ロ	斗	○	十	○	ロ	十	○	チ
八		チ	為		>		チ	斗		人
九	○	サ	中	○	>九	○	サ	十	○	チ
十		ロ	為				ロ			レ
△	○		△	○	△	○	△	△	○	
九		サ	斗		>>		サ	>		ツ
十	○	ロ	△	○	◎	○	ロ	◎	○	
			九							ロ
十	○	チ	斗	○	斗	○	チ	斗	○	ツ
中			為		>		人	為		レ
中	○	サ	九	○	中	○	チ	>為	○	サ
為		レ	八				レ			チ
△	○		△	○	△	○	△	△	○	
斗		チ	九		>		ツ	>>		サ
△	○		八	○	◎	○	△	◎	○	チ
十		レ					ロ			レ
九	○	ツ	斗	○	斗	○	人	中	○	レ
八		人	十		>		チ	>		人
九	○	チ	九	○	斗	○	人	中	○	チ
斗		ツ ^甲	八				ツ			レ
十	○	ロ	△	○	△	○	ロ	△	○	
			九		>			>		ツ
◎	○		△	○	◎	○		◎	○	
			斗							サ
◎	○		十	○	八	○		十	○	ロ
					>			>		

蘭が薫れば (11)

		213		209		205		
>八 _第	>—	・チ	>+	<i>ff</i> 一	<i>ff</i> ロ	<i>mf</i> +	<i>mf</i> 1	∧
		・チ		—			—	
>>	>>	・チ	△	ス	ロ	△	>	
		・チ	▽	仁	ロ	▽	ス	
>>	>>	・チ	◎	1	ロ	◎	—	○
		・		>			—	
◎	◎	○	+	>	チ	+	>	<i>mf</i> チ
			▽	>	チ	▽	ス	チ
九	四	・ハ	>+	>一	>ロ	+	1	∧
		・ハ		—			—	
>	>	ハ	△	ス	ロ	△	>	
			▽	仁	ロ	▽	ス	
◎	◎		◎	1	ロ	◎	—	○
				>			—	
◎	◎		中	>	チ	中	>	チ
			▽	>	チ	▽	ス	チ
>+	>一-1	・セ	>中	>—	>チ	中	7	∧
		・		1			1	
◎	◎	○	△	>	チ	△	ス	
			▽	ス	チ	▽	仁	
>+	>一-1	・セ	◎	1	チ	◎	—	○
		・		7			1	
◎	◎	○	中	>	セ	中	ス	セ
			▽	ス	セ	▽	1	セ
			>中	>—	>チ	中	7	∧
				1			1	
			△	>	チ	△	ス	
			▽	ス	チ	▽	仁	
			◎	1	チ	◎	—	○
				7			1	
			+	>	セ	+	>	セ
			▽	ス	セ	▽	ス	セ

蘭が薫れば (14)

		201		197		193		189			
<+ _第	<一	<ロ	中 _為	一	<i>mf</i> ロ	<i>mf</i> 五 _第	○	∨	<i>mf</i> 五 _七	<i>mf</i> 一	∨
			斗	—	チ	八	>		絃	—	
△	ス	ロ	中	—		>	○		◎	>	
	仁	ロ	斗	>		五	○		+	ス	
◎	1	ロ	十九	>		八	○		中	仁	
	>		八	>		十八	○			—	
+	>	チ	十九	>		十八	○			1	
	>	チ	八	>						—	
>+	>一	>ロ	中 _為	一	ロ	五	○	∨	五	一	∨
	—		斗	—	チ	八	>		◎	>	
△	ス	ロ	中	—		>	○		+	ス	
	仁	ロ	斗	>		十八	○			仁	
◎	1	ロ	十九	>		十八	○		中	—	
	>		八	>		十	○			1	
+	>	チ	十九	>		斗				—	
	>	チ									
>中	>—	>チ	斗	四	ロ	中	<i>mf</i> 7	∨	八	7	∨
	1		十九	1	チ	>	ス		◎	5	
△	>	チ	斗	>	チ	為	ス		+	ス	
	ス	チ	十九	1		>	4		九	ス	
◎	1	チ	八	>		斗	ス		八	ス	
	7		七	>		>	1			ス	
中	>	セ	六	>		+	ス			1	
	ス	セ	六			>	1			ス	
>中	>—	>チ	斗	四	ツ	斗	4	∨	六	4	∨
	1		十九	1	ロ	>	ス		◎	ス	
△	>	チ	斗	>		九	四		+	ス	
	ス	チ	十九	1		>	ス			—	
◎	1	チ	八	>		八	—		八	ス	
	7		七	>		>	1			ス	
+	>	セ	六	>		+	一			1	
	ス	セ	六							ス	

蘭が薫れば (13)